

テーマ型協働事業に対するコメント概要

| | | | | | | | |
|------------------|--------------------------------------|---|-----------|------|-------------|--------|-------------|
| 事業名 | | 「今治空襲と戦災」DVDの制作 | | | | | |
| 実施団体名 | | 今治市の戦災を記録する会 | | | | | |
| 協働団体 | | ① 今治ユネスコ協会 ②TRC今治図書館サポート（今治中央図書館） ③生涯学習課 | | | | | |
| テーマ提示課 テーマ | | 生涯学習課 地域の歴史や文化を発掘・収集し、次の世代にバトンタッチする | | | | | |
| 事業概要 | | <p>【事業目的】 太平洋戦争末期、今治市が受けた3度の空襲。その戦災の惨禍を調査記録し伝える活動を続けているが、体験者の高齢化が進む中、街が灰と瓦礫になった映像（1945年11月米国の戦略爆撃調査団が来今し調査記録したもの）や、体験者の姿と生の声をDVD化して残し、広く後世に平和の大切さを伝えることを目的とする。</p> <p>【事業内容】 「今治空襲と戦災」DVDを制作し、市内小中高等学校や今治市中央図書館、その他各種団体でDVD及び関連図書を特設展示し、空襲や戦災体験者の声を伝える場を設け、戦争と平和について考える機会を提供する。</p> | | | | | |
| 補助額 | | 市補助額 | 700,000 円 | 総事業額 | 1,004,450 円 | 補助対象経費 | 1,004,450 円 |
| コ メ ン ト | 実 施 団 体 | <p><事業を実施しての効果> 事業を実施する過程で空襲直後の市街地の高精細航空写真が見つかり、今治空襲の実相の解明に役立った。 小中学校などの平和授業、各種団体等で活用できる映像素材が提供できた。</p> <p><事業を実施しての問題点> 本プロジェクトでは、今治空襲の体験談を多く収録することを目的としたが、体験者の高齢化により収録が難しかった。カメラマンや映像編集など、専門の技術を持つ人を今治市内に求めたが、経費などとの関係から難しかった。そのため、関係各所との連携や作業開始に時間が掛かり、DVDの完成が予定より遅延した。</p> <p><問題点に対する解決策> 体験談では、2008年に会が制作したビデオの中のインタビューを活用した。専門の技術スタッフについては、広島在住のフリーランスカメラマンに撮影を依頼し、編集は仙台在住のクリエイターに依頼したため、オンライン会議で意思疎通をはかった。</p> | | | | | |
| | 市 民 活 動 推 進 委 員 | <p>（１）公益性 ・様々な形で活用される貴重な資料である。 ・平和な生活は市民共通の思いであり、共感できる事業である。</p> <p>（２）継続性及び発展性 ・若い会員の育成が事業継続に必要である。</p> <p>（３）実現性 ・事業計画や費用は適切である。 ・今治市内の業者で作成ができなかったのが残念。</p> <p>（４）団体の評価 ・活動はしているが、広報が若干弱いのではないかな。</p> <p>（５）協働の必要性と効果 ・作成されたDVDが広く活用されるよう、協働相手だけでなく他の団体とも協働し、公開の機会の提供・広報に努めてほしい。</p> | | | | | |

テーマ型協働事業に対するコメント概要

| | | |
|------------------|----------|--|
| 事業名 | | 「今治空襲と戦災」DVDの制作 |
| 実施団体名 | | 今治市の戦災を記録する会 |
| コ メ ン ト | 市民活動推進委員 | <p>＜総評＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今治空襲の実現の解明に役立てたこと、小中学校等に貴重な映像資料が提供できたことは良かったと思う。記憶ではなく、記録を残していくためにも、今後の取り組みにも期待したい。 ・戦災体験者が少なくなり、戦争の体験談、空襲後の写真等を紹介し戦争と平和について考える活動は地味ではあるが、平和であり続けるには貴重な事業である。 ・今治空襲について伝える方が減っているので、忘れないためにも映像で残っていくのは素晴らしいことであると思う。これで終わらず、子どもたちにも伝えていける動き方をしてほしい。 ・とても貴重な資料が出来上がったと思うので、可能な範囲でYoutube等でも公開し、より多くの人の目に触れられるようにしたら良いのではないかな。 |
| | テーマ提示課 | <p>（１）公益性 DVD作成は、テーマ「地域の歴史や文化を発掘・収集し、次の世代にバトンタッチする。」に有効な資材になると思われる。</p> <p>（２）継続性及び発展性 作成したDVDの映像放映機会を設けることで、今治の歴史や平和の大切さを伝えていけると思われる。</p> <p>（３）実現性 ほぼ計画予算通りの実施報告になっている。</p> <p>（４）団体の評価 長年、「平和」の大切さを伝えている団体である。</p> <p>（５）協働の必要性和効果 作成したDVDを活用して、今治の歴史や平和の大切さを広げていけるのではと思われる。</p> <p>＜総評＞</p> <p>「今治空襲と戦災」を言葉や文書だけでなく、今治空襲直後の航空写真を取り込んだDVD作成は、今後いろんな機会、今治の歴史を知ることができる状況となり、また、平和の大切さを感じてもらうために有効な資材となると思われる。テーマに対し効果があった取り組みであったと思われる。</p> |